

2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年7月15日

上場会社名 株式会社協和コンサルタンツ 上場取引所 東
 コード番号 9647 URL http://www.kyowa-c.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 満
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員統括本部経営管理室長 (氏名) 黒瀬 雅弘 (TEL) 03-3376-3171
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	4,227	5.6	536	36.1	527	39.1	318	50.9
2019年11月期第2四半期	4,003	20.5	394	95.9	379	97.5	211	111.5

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 336百万円(35.7%) 2019年11月期第2四半期 248百万円(132.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	544.57	—
2019年11月期第2四半期	360.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	5,876	2,464	39.2
2019年11月期	6,561	2,152	30.6

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 2,303百万円 2019年11月期 2,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年11月期	—	0.00	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日~2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	0.7	260	△4.2	230	△6.4	100	△15.7	170.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年11月期2Q	586,100株	2019年11月期	586,100株
② 期末自己株式数	2020年11月期2Q	1,210株	2019年11月期	1,184株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年11月期2Q	584,915株	2019年11月期2Q	584,916株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済の悪化を受け、輸出の減少とインバウンド需要の消失にみまわれ、更に、緊急事態宣言の発令による経済活動の自粛等により景気は急速に悪化し、先行きが不透明な状況となっております。

一方、建設コンサルタント業界は、国内業務については、緊急事態宣言発令後の自粛期間中、一部の業務において発注遅延等が生じましたが、防災・減災、国土強靱化関連の発注は引き続き高水準が維持されておりました。しかしながら、海外業務については、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により現地渡航に制限が生じ、新規案件で発注遅延や業務開始時期が未定となる等の影響が生じているほか、進行中の案件も遠隔生産を余儀なくされ、業務工程を大幅に見直す必要が生じる等の影響が出ました。

このような状況下、当社グループは、営業面では、自粛期間中における公共事業の発注遅延等に備えて、受注量の確保を最優先とする営業活動を展開し、連結受注高で前年同期を上回る成果を上げることができました。生産面では、緊急事態宣言の発令が新年度となった関係で、年度末納期の案件に対する影響は限定的であり、新年度案件についても全社的にリモートワークを活用して感染リスクを低減しつつ生産性に対する影響を最小限とする取り組みを行いました。また、再生可能エネルギー関連の取り組みにつきましては、提案営業活動済みの顧客に対するメール等を活用した遠隔フォローアップ営業と、当社の小水力発電機専用の蓄電池の設計に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高3,952百万円（前年同期比2.0%増）、売上高4,227百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益536百万円（前年同期比36.1%増）、経常利益527百万円（前年同期比39.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益318百万円（前年同期比50.9%増）となり、現段階において1月に開示した業績予想に対する進捗は順調に推移しております。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(建設コンサルタント事業)

主力事業であります建設コンサルタント事業は、受注高2,888百万円（前年同期比4.8%増）、売上高3,372百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益511百万円（前年同期比54.3%増）となりました。

(情報処理事業)

情報処理事業は、受注高1,061百万円（前年同期比4.8%減）、売上高853百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益82百万円（前年同期比27.9%減）となりました。

(不動産賃貸・管理事業)

不動産賃貸・管理事業は、当社子会社が主に連結グループ内企業に対してサービスを提供している事業で、受注高1百万円（前年同期比9.3%減）、売上高1百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益18百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

(注) 上記セグメント別の売上高は、外部顧客に対する売上高のみを表示しております。セグメント別の営業利益は、外部顧客に対する額に加え、セグメント間の額を含めて表示しております。内部売上高を含む詳細につきましては、[セグメント情報]をご参照下さい。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ685百万円減少し、5,876百万円となりました。これは主として受取手形・完成業務未収入金等及び未成業務支出金の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ998百万円減少し、3,411百万円となりました。これは主として短期借入金の返済による減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ312百万円増加し、2,464百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、2,321百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって獲得した資金は1,414百万円（前年同期は獲得した資金1,493百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益を527百万円計上したことに加え、売上債権が414百万円、たな卸資産が321百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は34百万円（前年同期は使用した資金9百万円）となりました。これは、有形固定資産の取得14百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は1,355百万円（前年同期は使用した資金954百万円）となりました。これは、短期借入金の純減1,300百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2020年1月17日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,558,194	2,581,925
受取手形・完成業務未収入金等	1,177,280	762,326
未成業務支出金	1,244,533	922,904
その他	62,769	57,619
流動資産合計	5,042,777	4,324,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	150,540	150,126
土地	526,435	526,435
その他(純額)	71,354	73,332
有形固定資産合計	748,330	749,894
無形固定資産	173,249	178,021
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	27,559	27,496
その他	608,030	634,296
貸倒引当金	△38,040	△38,040
投資その他の資産合計	597,549	623,753
固定資産合計	1,519,128	1,551,668
資産合計	6,561,906	5,876,445
負債の部		
流動負債		
業務未払金	380,858	361,604
短期借入金	2,100,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	20,000
未成業務受入金	773,420	864,379
未払法人税等	77,791	224,820
受注損失引当金	2,231	1,368
その他	544,419	624,208
流動負債合計	3,898,720	2,896,381
固定負債		
長期借入金	25,000	15,000
役員退職慰労引当金	155,719	154,257
退職給付に係る負債	279,916	292,908
その他	50,274	53,019
固定負債合計	510,911	515,186
負債合計	4,409,631	3,411,568

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	753,587	1,054,568
自己株式	△2,005	△2,068
株主資本合計	2,001,582	2,302,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,567	587
退職給付に係る調整累計額	900	450
その他の包括利益累計額合計	7,468	1,037
非支配株主持分	143,224	161,339
純資産合計	2,152,274	2,464,876
負債純資産合計	6,561,906	5,876,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	4,003,251	4,227,511
売上原価	2,976,612	3,056,365
売上総利益	1,026,638	1,171,146
販売費及び一般管理費	632,428	634,550
営業利益	394,210	536,595
営業外収益		
受取利息及び配当金	492	523
受取家賃	4,114	4,397
その他	2,710	2,572
営業外収益合計	7,317	7,493
営業外費用		
支払利息	17,974	16,530
その他	4,545	432
営業外費用合計	22,519	16,962
経常利益	379,007	527,126
税金等調整前四半期純利益	379,007	527,126
法人税、住民税及び事業税	139,524	206,473
法人税等調整額	△13,160	△22,275
法人税等合計	126,363	184,198
四半期純利益	252,643	342,927
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,578	24,399
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,065	318,528

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益	252,643	342,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,636	△5,980
退職給付に係る調整額	1,037	△450
その他の包括利益合計	△4,599	△6,430
四半期包括利益	248,044	336,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206,465	312,097
非支配株主に係る四半期包括利益	41,578	24,399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	379,007	527,126
減価償却費	39,648	35,845
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△42,244	△1,461
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△800	12,405
受注損失引当金の増減額(△は減少)	55	△863
受取利息及び受取配当金	△492	△523
支払利息	17,974	16,530
売上債権の増減額(△は増加)	687,685	414,953
たな卸資産の増減額(△は増加)	431,742	321,628
仕入債務の増減額(△は減少)	21,450	△19,254
その他	33,672	183,572
小計	1,567,700	1,489,959
利息及び配当金の受取額	492	523
利息の支払額	△18,117	△15,175
法人税等の支払額	△53,472	△61,206
その他	△3,000	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,493,602	1,414,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,297	△14,303
無形固定資産の取得による支出	△8,025	△11,790
その他	1,454	△8,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,868	△34,141
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△900,000	△1,300,000
長期借入金の返済による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△17,547	△17,547
非支配株主への配当金の支払額	△3,142	△6,284
その他	△23,858	△21,837
財務活動によるキャッシュ・フロー	△954,548	△1,355,668
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	529,185	24,289
現金及び現金同等物の期首残高	1,750,776	2,297,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,279,962	2,321,751

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	3,087,900	913,319	2,030	4,003,251	—	4,003,251
(2) セグメント 間の内部売上高	—	30,306	29,241	59,547	△59,547	—
計	3,087,900	943,625	31,271	4,062,798	△59,547	4,003,251
セグメント利益	331,750	114,748	18,028	464,527	△70,316	394,210

(注) 1 セグメント利益の調整額△70,316千円には、セグメント間取引消去2,439千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△72,756千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	3,372,288	853,381	1,841	4,227,511	—	4,227,511
(2) セグメント 間の内部売上高	—	28,005	29,241	57,246	△57,246	—
計	3,372,288	881,387	31,082	4,284,758	△57,246	4,227,511
セグメント利益	511,991	82,692	18,563	613,247	△76,651	536,595

(注) 1 セグメント利益の調整額△76,651千円には、セグメント間取引消去2,596千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,247千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。